

平成26年度大分大学高等教育開発センター『「協育」アドバイザー養成講座（中級編）』  
6期生「協育」アドバイザー専門研修 実施要項

1. 趣旨

家庭・学校・地域社会が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる「家庭、学校、地域社会の教育の協働」を推進し、学校や地域における子どもの健全育成や、家庭教育への積極的な支援を行う体制の整備のため、その中核的な人材の養成を行うための専門的な研修を実施する。その際、コーディネーター能力の養成とともに、キャリア教育や体験活動に関するプログラム企画力を養成し、提案し、実践するためのスキルの向上を図ることを目的とする。

さらに、受講修了者のネットワークを拡大し、受講生の職場や地域での日常的な活動を支援する。

2. 主催 大分大学高等教育開発センター

協力 NPO法人大分県「協育」アドバイザーネット

3. 期日 平成27年3月14日（土）・3月15日（日）

4. 会場 大分大学 教養教育棟2F 27号教室

5. 対象者 次の①又は②条件で、2日間とも受講できる方

①「協育」アドバイザー養成講座（基礎編）を受講した方

②基礎編の受講は出来なかったが、今後、基礎編及び上級編を受講予定の方

学校支援事業や放課後子ども教室、家庭教育支援等に係るコーディネーター、各種団体・グループ、NPO、企業等の地域活動者、社会教育主事等社会教育関係職員及び指導主事等学校教育関係職員、その他、趣旨に賛同し、職場及び地域等で受講したことを活用できる者 等

6. 申込み（問合せ）方法・受講料（無料）

①受付期限：平成27年2月16日（月）※郵送・ファックス・メール可

②申込先：大分市旦野原700番地 大分大学教育支援課（公開講座担当）

③電話：097-554-8522/FAX：097-554-7445

④Eメール：kyokikss@ad.oita-u.ac.jp

7. 修了証 講座の全日程を受講したものには、大分大学長の修了証を授与する。

8. 講座の内容

	時間	内 容
一 日 目	8:40~9:00	受付
	9:00~9:10	開講式（挨拶・説明）
	9:10~11:00	講義1 学校教育の現状・課題と教育の協働の視点 講師 大分大学教育福祉科学部 山崎清男 教授 「子どもの数より多い地域住民が参加する学校教育づくり」 講師 由布市立阿蘇野小学校長 伊東俊昭氏
	11:15~ 14:00	講義2 地域社会の現状・課題と教育の協働の視点 講師 大分大学高等教育開発センター 岡田正彦 准教授
二 日 目	14:15~16:15	講義3 家庭教育の現状・課題と教育の協働の視点 講師 別府 地域子育て支援センター「にじのひろば」代表 村田広子氏 演題：「家庭教育の現状から、地域が関わる必要性を考える」
	9:00~10:00	講義4 いじめの現状と対策及び相談機関に期待すること 大分県教育庁生徒指導室 指導主事 草野 茂生 氏
	10:15~12:00	講義5 子どものための「協育」を推進するコーディネーターの実際 ～全国のコミュニティ・スクールの現状をとおして～ 講師 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長 生重幸恵氏
	13:00~16:00	熟議 「学校教育の課題に対応する地域の教育資源（人・文化・産業等）を探そう」 講師 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重幸恵氏 大分大学高等教育開発センター 中川忠宣 教授
	16:20~	閉講式（修了証授与・アンケート等）

※第1日目の講座修了の後に、講師を交えて自由参加の活動情報交換会を実施します。

## 参加申込書

平成26年度 『「協育」アドバイザー養成講座（中級編）』に参加します。

### 受講者

氏名	( 男 女 )		
連絡先	住所 〒		
	電話		
	Eメール		
参加計画 ○or×	3月14日(土)		情報交換会
	3月15日(日)		
現在の活動状況			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			

※基礎講座修了生は「推薦者」への記入は不要です。

### 推薦者

職・氏名	
機関・団体等名	
機関・団体等所在地	〒
機関・団体等電話	

## 【参考資料】大分大学高等教育開発センター

### 「協育」アドバイザー養成講座の実施について

#### 1. 趣旨

改正教育基本法や教育振興基本計画をふまえて家庭・学校・地域社会が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを目的として「学校支援地域本部事業」が始まった。これまでは、家庭、学校、地域社会がそれぞれの取り組みとして行うことにとどまっており、もはや単独での取り組みは限界にきていると言わざるをえない状況であることから、家庭、学校、地域社会の相互の連携協力を促し、それぞれの教育力を向上させるとともに、教育を協働して行う必要性が明確になったと言える。これからの教育が、「青少年を育成する学校教育、社会教育、家庭教育の連携」、「家庭教育を支援するための福祉活動との連携」、「高齢者の生きがいを創出するための福祉活動の連携」等々、地域全体が連携協力して、縦割りの取り組みから、「横の接続」を促進する取り組みの重要性が認識されてきたと言える。

そこで、こうした取り組みに対して民間の教育力を発揮し、「家庭、学校、地域社会の教育の協働」を推進するために、地域ぐるみでの学校や地域での子どもの健全育成や家庭教育への積極的な支援、福祉と教育の融合、及び大人社会の再構築を推進する中核的な人材の養成を行うことを目的として開講する。

さらに、受講修了者のネットワークを組織化し、受講生の職場や地域での日常的な活動を支援するとともに、受講生の活動情報を収集・分析し、「協育」コーディネーター育成プログラムの開発や関係者へ提供することによって、本県における「家庭、学校、地域社会の教育の協働」システムの構築に寄与する。

#### 2. 主催 大分大学高等教育開発センター

#### 3. 内容・時期

- ①（基礎編）「協育」アドバイザー基礎研修：11月頃実施
- ②（中級編）「協育」アドバイザー専門研修：基礎編修了者で希望する者を対象に3月頃実施
- ③（上級編）「協育」アドバイザー実践研修：基礎編・中級編修了者で希望する者を対象に翌年の9月頃実施

#### 4. 対象者 学校や地域における各種コーディネーター

各種団体・グループ、NPO、企業等の地域活動者

社会教育主事等社会教育関係職員及び指導主事等学校教育関係職員

その他、趣旨に賛同し、職場及び地域等において受講したことを活用できる者 等

#### 5. 修了証

各コースの講座を受講した者には、コースごとに大分大学長の修了証を授与する。

#### 6・経費 教材、先進地視察に係る交通費等の実費を徴収する。

#### 7. 修了者のネットワーク化

修了者が、それぞれの職場や地域での日常的な活動を充実するために、活動情報の収集・提供、それぞれの活動の情報交換、及び各種研修等を行うために、NPO法人大分「協育」アドバイザーネットへの参加を推進する。